



# 力戦奮闘…体育祭で得たもの。

9月8日土曜日、第72回体育祭が無事に終了いたしました。ご来賓の方々、保護者・地域の皆様、また、早朝よりご協力いただきましたPTA 会長をはじめ役員の皆様、本校「おやじの会」の皆様方に心より感謝申し上げます。

今年の体育祭のスローガンは、「**力戦奮闘！ ~船中生 半端ないって！~**」でした。

「力戦」は力をつくして自分の能力をふるうこと、「奮闘」は気力を奮い立たせて戦うこと、と言われます。本校の創立以来変わらない校訓「**元気**」にも通じる言葉であり、この言葉をスローガンに選んだ生徒達の、**今年の体育祭にかける熱い「思い」**が感じられるものでした。

体育祭当日に会場に掲示するスローガンは、美術部の生徒達によって夏休み中に制作されました。夏休み明け初日の9月3日、本来であればグラウンドでやる予定だった第1回全体練習は、雨模様のため蒸し暑い体育館で行われ、実行委員が練習内容をアレンジしながら進めていく中で、体育科の先生の似顔絵とともに書かれた大きなスローガンが美術部の生徒の手によって全校生徒に披露されました。

本校の体育祭は生徒が主体になって行われ、全体練習も実行委員によって進められます。体育祭実行委員のメンバーは6月27日から活動を開始し、以来当日まで、クラスの代表として頑張ってきました。中でも3年生の実行委員のメンバーは、練習はもちろん、開会式・閉会式においても先頭に立って立派に役割を果たしてくれました。特に当日の朝、開会式の独特の緊張感の中でそれぞれの実行委員が見せてくれた堂々とした姿は、今回の体育祭全体を通して感じられた真剣な雰囲気を作る大きな要因となったと思います。

学校の主人公は常に生徒です。だからこそ、「真剣に」取り組める空気が何より大切です。行事を楽しめる学校では、毎日の生活にリズムとメリハリができるものです。本番に向けて様々な準備をしていく中で独特の緊張感が生まれ、ひとつの行事を終えた時に「やり遂げた満足感」をみんなで共有できるのだと思います。今回の体育祭がまさにそうでした。

最近、スポーツ選手が大事な試合に臨む前のインタビュー等で「試合を楽しみたいと思います」とコメントすることがあります。この『楽しむ』のニュアンスは、Enjoyではなく、「自分の力を出し切って満足したい」というふうにとらえるべきなのだろう、と思います。

そう考えると、今回の体育祭はスローガンの通り、どの学年の生徒もそれぞれが自分の力を「半端なく」発揮しようと頑張っていました。生徒達は3年生を中心に、今回の体育祭を真剣に「楽しむ」ことで、また大きく成長したと思います。閉会式の時に実行委員長の大嶋七海さんが思わず涙ぐんで話した言葉、そして、最後の全校生徒へ向けての「ありがとう」という言葉がそれを物語っていました。

学校生活では様々な体験をする機会があります。そして、その中では必ず新しい自分との出会いがあります。その体験は、いいことばかりではないかもしれませんが、うまくいくこともうまくいかないこともあります。でも、中学校での体験はすべて自分の財産になります。これから向き合うすべての体験を自分自身の財産として大切にして、この先へ進んでいってほしいと願っています。